

西郷菊次郎の志を 次の世代に！

11月24日、西郷菊次郎顕彰剣道大会がB&G海洋センタ―で開催され、団体戦に53チーム、個人戦に175名が出場し、少年少女剣士たちが日頃研いた技を競いました。

この大会は西郷隆盛の長男で、当時の青少年の健全育成を願い自費で武道館を建て夜学校を開き文武両道の人材育成に当たった、永野山ヶ野金山鉦業館長の西郷菊次郎の功績をたたえて開催されているもので、今年が26回目。

開会式では求名剣道スポーツ少年団の川上沙耶香さん（求名小五年）が「選手一同は剣道精神にのっとり正々堂々試合することを誓います。」と大きな声で選手宣誓をおこない、その後6会場に分かれて試合がありました。

本町からは求名剣道スポーツ少年団が参加し、団体戦（小学校低学年の部）で準優勝、個人戦（小学校四年生以下（下の部）で東翔太君が3位と好成績を収めました。

新しく多目的な体育館に！ 薩摩中学校新体育館落成式

本年1月より建設中だった薩摩中学校の体育館の落成式が11月29日、同校で開催されました。先の体育館は昭和45年に建設され、その後33年が経過し老朽化が進んでいました。

今回建設された新体育館は、事業費約2億2,200万円で、延べ床面積1,295.14㎡天井は最高で13.1mあり、アリーナ部分で旧体育館の約1.9倍、ステージ部分で約2.4倍あります。また、1階に集会トレーニング室が、2階後方には多目的スペースが設けられ、学校教育だけでなく地域の方々の体育活動、福祉活動にも利用が期待されます。

落成式では生徒会長の高橋駿仁君が「古い体育館には思い出もたくさんあり少し残念だったが、このように大きき立派な体育館を作ってもらいありがとうございます。今後も生徒一同大切に使用させていただき、いろいろな場で活用していきたい。」と感謝の言葉を述べました。

▶メンを打ち込もうとする
熊田友里選手（求名・写真左



住民の悲願！ 狭い道路がより広く

11月21日農免農道「永野西部Ⅱ期新地工区」起工式が、永野新地の工事現場で開催されました。

当日は工事関係者、地権者など約33名が参加して安全祈願がなされました。新地公民館長の新地和叶さんは、「地域住民として厚くお礼申し上げます。これまで地域住民が待ち望んだ道路です。早く開通することを願う」

ています。」と話されました。同農道は、新地から築平公民館まで約1キロが整備される予定です。



▲「起工式」の模様

▶新しくなった体育館



今日は外国米について調べているグループの人たちからレッドライスを食べさせてもらいました。見た感じでは赤くてパサパサしていそうでした。食べてみると、見た感じのとおりパサパサしていて水分があまりありませんでした。やはり米は日本の米がおいしいと思いました。でも、ご飯が赤いのはおもしろいなと思いました。赤い米があるのなら青い米もあればいいなと思いました。

研究授業

求名小六年 平野 未来さん 今日、研究授業がありました。今日の授業は、六時間目だったので、ちょっとねむかったです。差別について学習しているけど、昔はすごく差別がひどかったんだなあと思いました。今度書く読書感想文にも社会で習ったことを書きたいと思っています。授業では少しく緊張したけど、いつもどおりできたと思います。昔のことがどんどん知りたくなってきました。社会は楽しいなあ。